□ 学校教育法等関係法令
□ 第6次福島県総合教育計画（頑張る学校応援プラン）
□ 大玉村学校教育指導の重点
「夢を育てる教育」～おおたまに学び、世界とつながる人間の育成～

＜保護者の願い＞
□ 健康な心と体
□ 言葉による伝え合い
□ 感性と表現
R1幼稚園教育アンケート調査より

令和2年度
大玉村立玉井幼稚園　経営・運営ビジョン

教　育　目　標

自分やふるさとに誇りをもち、夢や希望に向かう子ども

・自ら考える子ども　・心豊かな子ども　・たくましい子ども

＜目指す幼稚園像＞
○ 子どもが生き生きと活動する幼稚園
○ 子ども・教職員・保護者が共に育つ幼稚園
○ 安全・安心で、笑顔があふれる幼稚園
○ 地域とともに歩む幼稚園
・ いい学校は、いい地域をつくり
いい地域は、いい学校をつくる

＜目指す教師の姿＞
・ 子どものよさを生かし、伸ばす教師
・ 使命感が高く、自己研鑽に努める教師
・ 同僚性が高く、組織的な取組を大事にする教師
・ 園児、保護者、地域から信頼される教師

みんな元気！玉っ子自己マネジメント力（RVPDCAサイクル）の育成

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

思考力の芽生え　自然との関わり・生命尊重　社会生活との関わり　豊かな感性と表現　自立心　言葉による伝え合い
数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚　道徳性・規範意識の芽生え　協同性　健康な心と体

重点目標

・自ら考える子ども	・心豊かな子ども	・たくましい子ども
自ら考え、進んで行動できる子ども	友達と仲良くできる子ども	目標に向かって挑戦できる子ども

重点実践事項

1　主体的に活動する意欲を育てる
① 興味や関心をもち、選べる環境の工夫
② 幼稚園生活の中で、開放感を味わいながら、自己発揮できる環境作り
③ 自分で考え、判断して行動したり、自分の思いを伝えたりしていく場面の設定

2　遊びを創造しようとする意欲を育てる
① 考えたり、分かったりすることの楽しさや喜びを十分に体験できる場の設定
② 興味・関心をもって聞く・話す活動の充実
③ 読み聞かせの充実

1　思いやりの心を育てる
① 友達と活動する楽しさを味わえる環境構成や支援の工夫
② 葛藤体験を通して相手の気持ちを考える場面の工夫
③ 自他のよさや違いを認め合える学級経営
④ 元気なあいさつができる環境の工夫

2　豊かな体験活動の充実を図る
① 異学年との交流活動の充実
② おおたま学園、地域の方々との交流活動の充実
③ 自然体験、社会体験の充実

1　自ら体を動かして遊ぼうとする意欲を育てる
① あきらめないで挑戦したり、やり遂げたりする楽しさを味わえる援助の工夫
② 一人一人の成長を認め、自分の力を発揮できる援助の工夫
③ 思い切り体を動かせる場と時間の確保

2　健康な体づくりへの意識を育てる
① 家庭と連携した基本的生活習慣の定着
◎食育　・ハンカチ　・手洗い
・うがい・歯磨き・汗の処理・排泄の自立
②『幼児期運動指針』を生かした集団遊びの工夫
③ 災害時など，安全に気を付けて行動できる力を身につける

家庭・地域との連携

・アンケートを生かした教育相談、個別面談等の実施　・おおたま学園内の交流　・地域の「人、もの、こと」とかかわる体験　・幼児期の教育のセンターとしての役割
・PTA活動の充実　・ボランティアの協力　・HPによる発信　・スクールカウンセラー、SSWとの連携　・コミュニティ・スクール委員会との連携　・役場、保育所等との連携

基本的生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ご飯、手洗い・うがい、食事のマナー、排泄、身支度、身辺整理）

保育における評価
①幼児の生活の実態や発達の理解
②指導計画のねらいや内容、環境の構成
③幼児の活動に沿った必要な援助

→ 指導計画の改善（ミーティングの実施）

＝ A：改善 → R：実態把握 → V：目標・構想 → P：計画 → D：実践 → C：評価 → A：改善

カリキュラムマネジメント